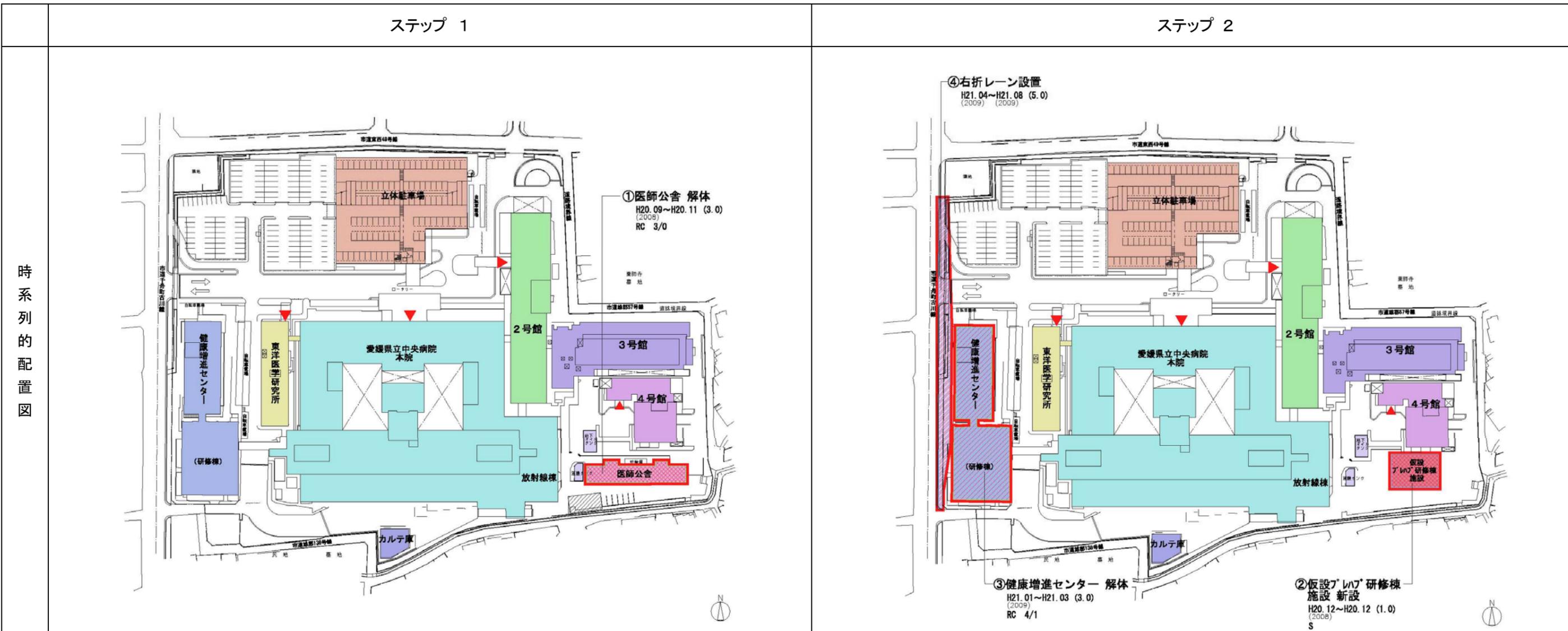


愛媛県立中央病院 建築ステップ図



時系列的配置図

工事工程

現状棟別概要

現状	健康増進センター(研修棟)	東洋医学研究所	本院	救命救急センター	周産期センター	PET-CTセンター・職員宿舎	立体駐車場	世帯用医師公舎	カルテ庫
呼称	健康増進センター	東洋医学研究所	本院	2号館	3号館	4号館	立体駐車場	医師公舎	カルテ庫
解体/改修	解体	解体	解体	解体	改修	設備システム改修	解体	解体	解体
建築完成年	S50	S58	S49	S56	H2	H18	H4	S50	S58
構造種別	SRC(RC)	RC	SRC	RC	SRC・RC	RC	S	RC	S
構造形式	ラーメン構造	ラーメン構造	ラーメン構造	ラーメン構造	ラーメン構造	ラーメン構造	ラーメン及びプレス構造	壁式構造	ラーメン構造
延床面積	4,132㎡	1,372㎡	31,163㎡	8,712㎡	7,568㎡	3,928㎡	7,427㎡	898㎡	448㎡
階数	4/1	2/0	8/1	6/1	7/1	8/1	3/0	3/0	3/0

※延床面積については、固定資産台帳上の面積である。

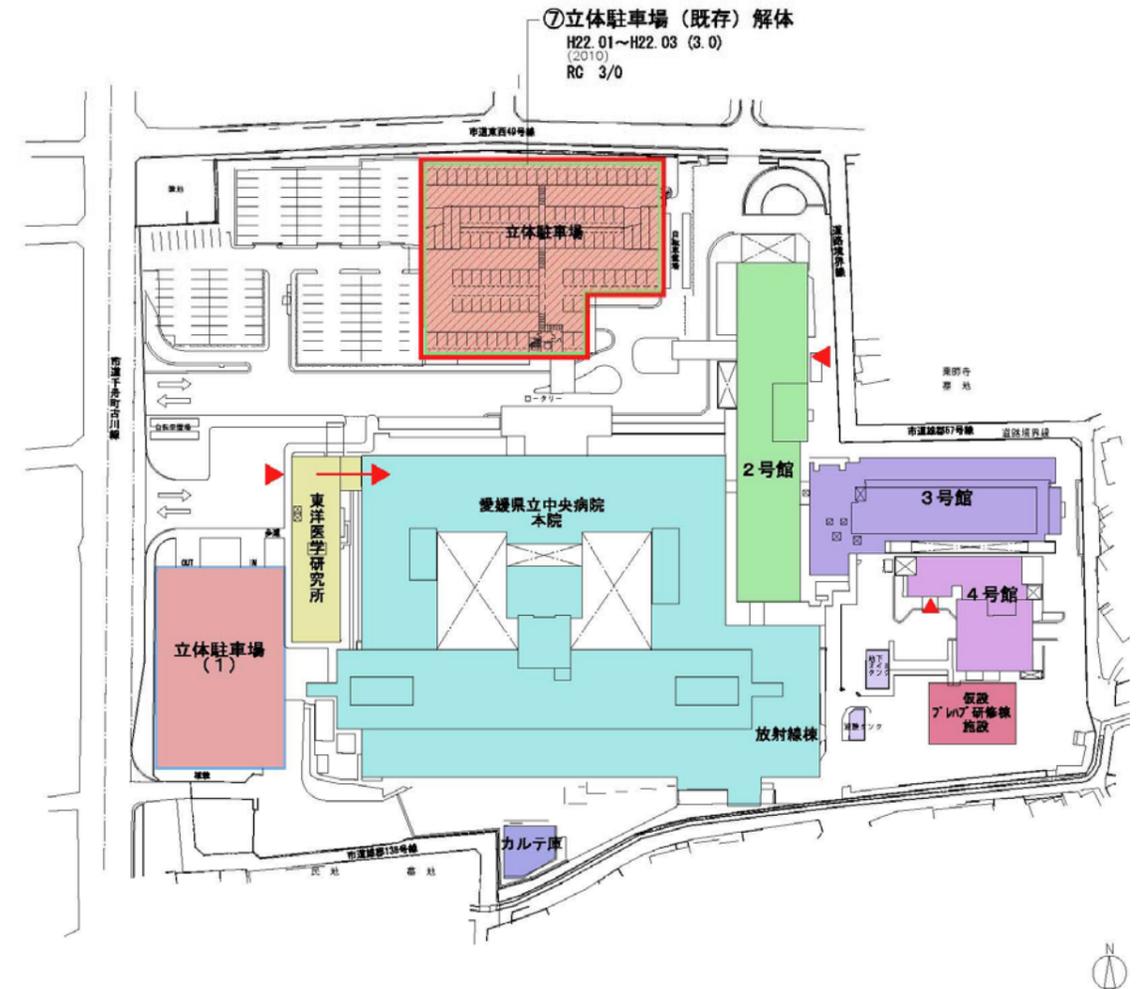
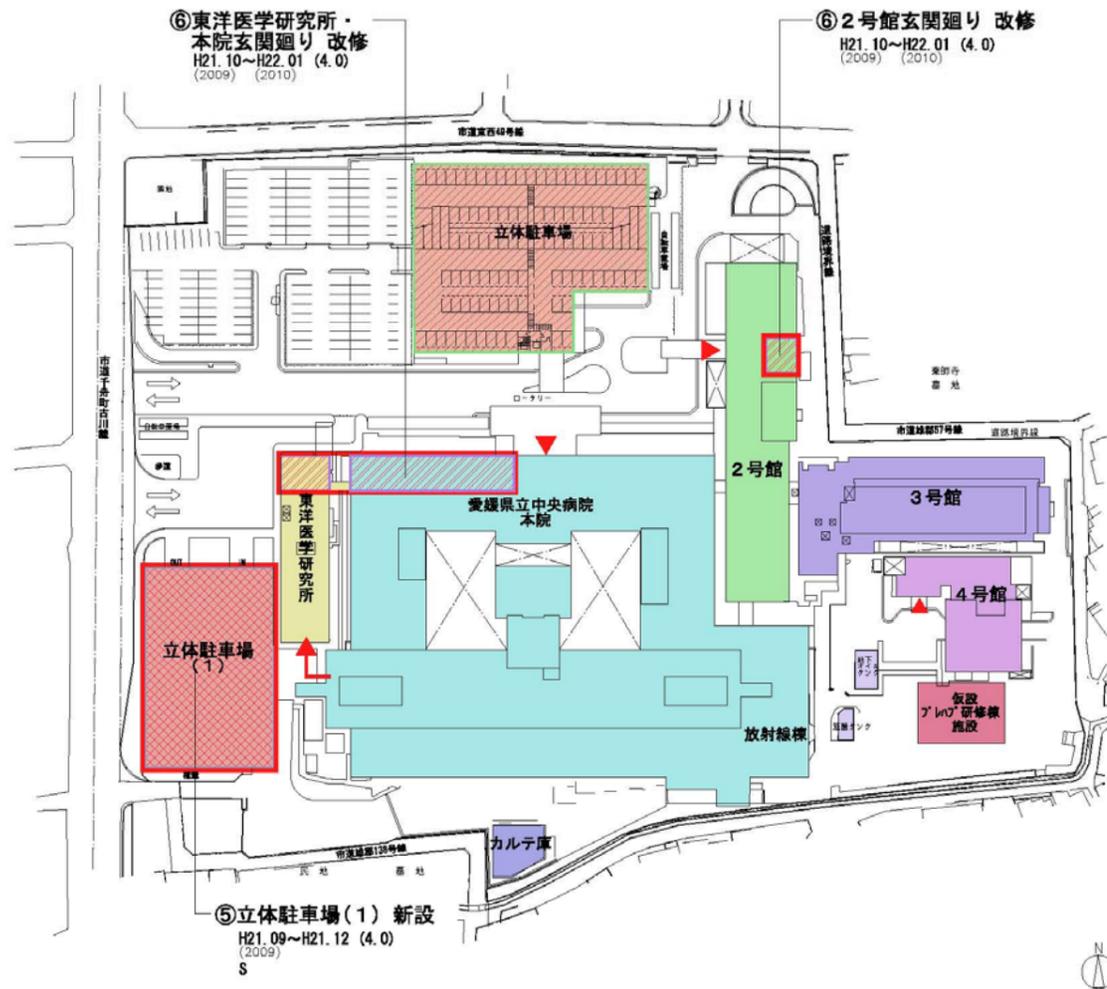
①医師公舎 解体

- ②仮設プレハブ研修棟 新設
■仮設プレハブ研修棟へ仮設インフララインを整備する。
- ③健康増進センター(研修棟) 解体
- ④西側市道道路 右折レーン設置 (事業対象外)
■ステップ3での立体駐車場(1)の工事に先立ち、本院から立体駐車場(1)へ仮設インフララインを整備する。

ステップ 3

ステップ 4

時系列的配置図



工事工程

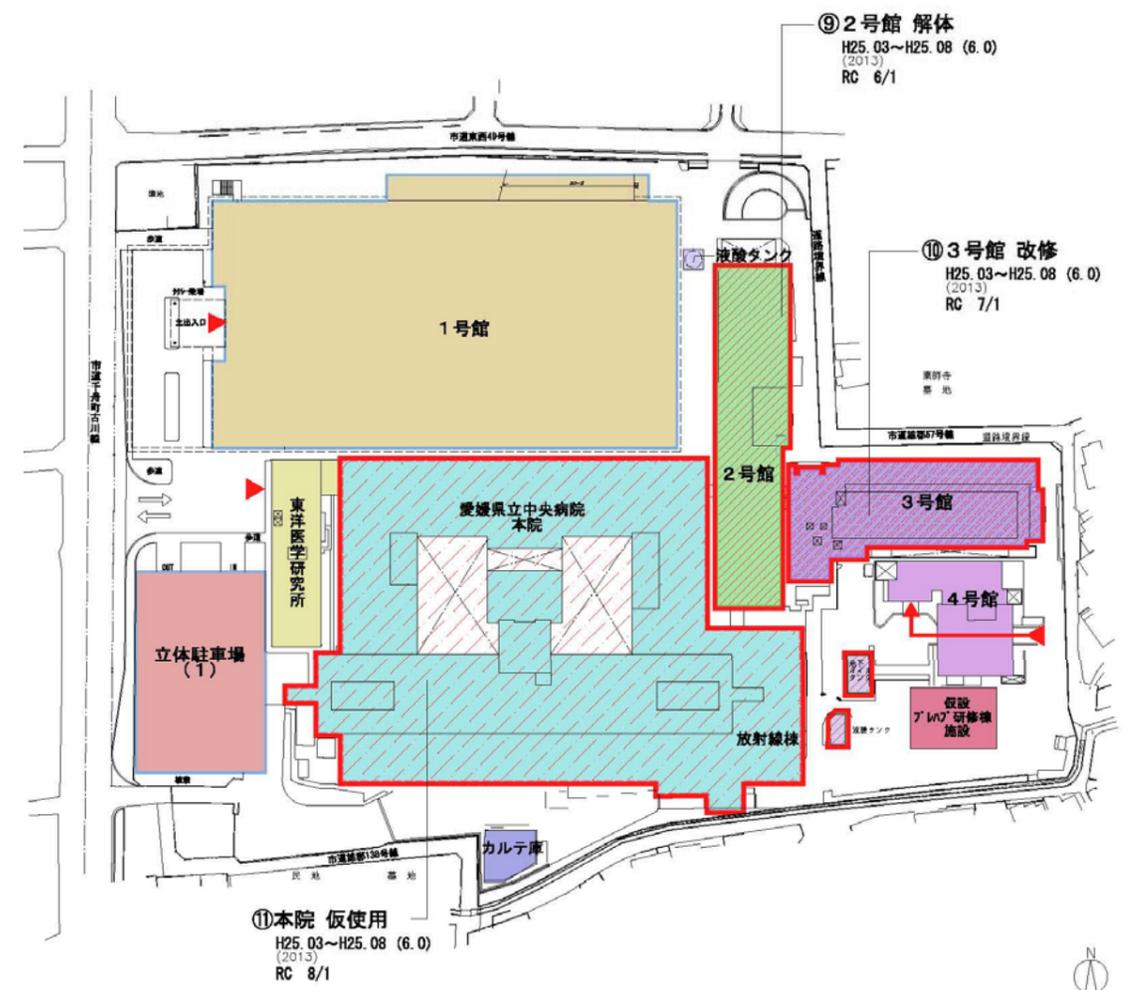
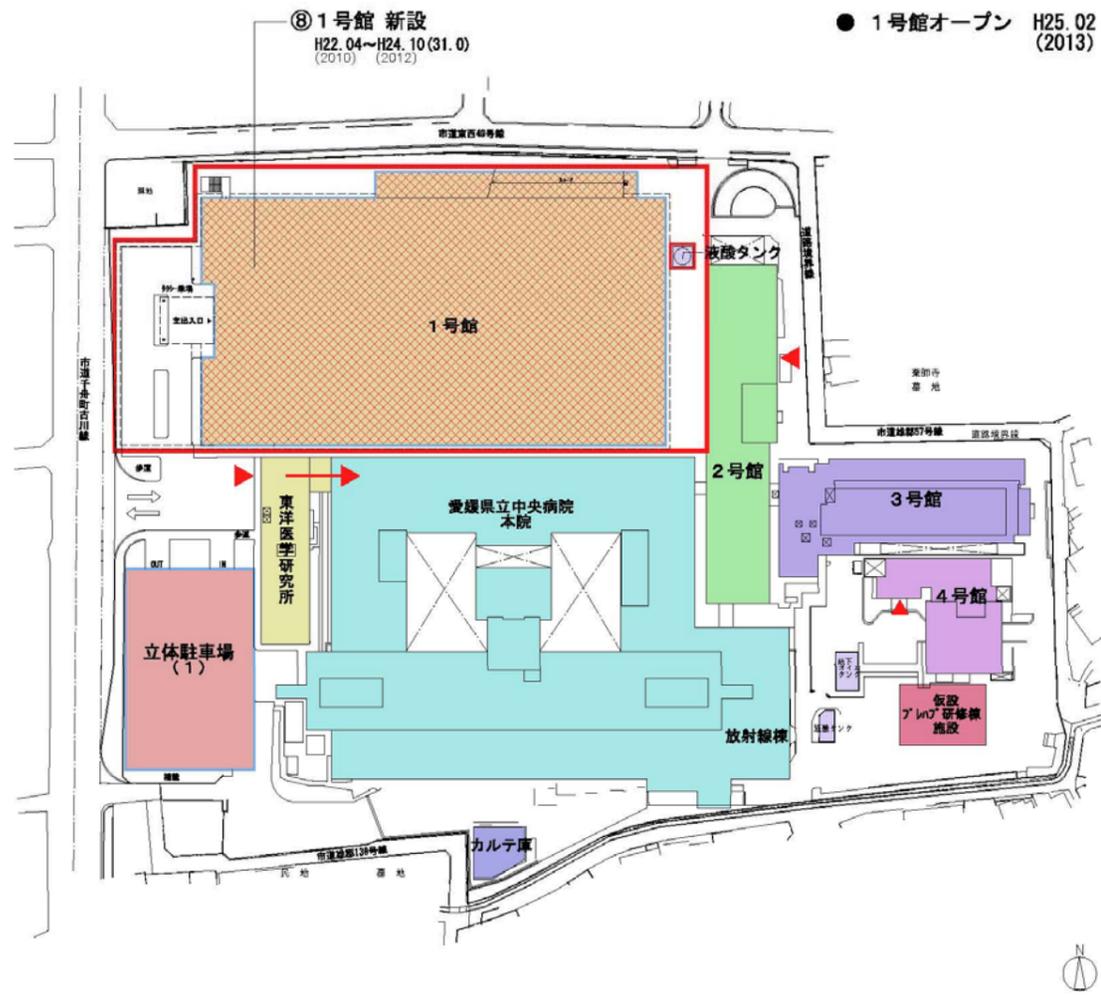
- ⑤ 立体駐車場(1) 新設
- ⑥-a 東洋医学研究所1階玄関廻り、本院1階玄関廻り改修 : 1号館建設工事中の仮設メイン玄関として改修
- 東洋医学研究所・本院間の渡り廊下を増築する。
 - 東洋医学研究所へのアプローチは本院から東洋医学研究所南側とする。
 - 本院から立体駐車場(1)への構内線を仮設整備する。
- ⑥-b 2号館玄関廻り改修 : 1号館建設工事中の仮設救命救急センター入口として改修
- 救急車のアプローチは2号館東側からとすることから、救急車進入に配慮した外構とする。
 - 2号館の救命救急出入り口を現在の位置から東側のエレベーターホールとする。
 - 2号館玄関廻りの改修工事に伴い、隣接するエリアの機能を継続するため、盛替え工事を行う。

- ⑦ 立体駐車場 解体
- 既存平置き駐車場は半分程度継続運用する。
 - 本院の出入口は東洋医学研究所からとする。
 - 本院玄関廻り及び工事範囲における石碑、庭石、植栽等を移設する。
 - 1号館建設地に本院インフララインが埋設されており、引込位置、構内ルートを盛替える。
 - ・ 電力は敷地西側の市道側から引き込む。
 - ・ 通信は敷地南側から引き込む。
 - ・ 排水は敷地西側の市道側へ放流する。
 - ・ 構内外灯は盛替える。
 - ・ 北側住宅地区に対する現テレビ電波障害対策ケーブルの盛替を行う。

ステップ 5

ステップ 6

時系列的配置図



⑧1号館 新設 : 1号館運用開始は平成25年2月を厳守

- 1号館工事範囲は赤線内とする。
- 本院と1号館の間は安全通路を確保する。
- 1号館竣工から本院の解体までの期間において、本院の電力、電話、LAN、防災、監視等のシステム機能を継続するため、1号館と本院との連絡線を工事する。
- 1号館での特高受電後も、本院、2号館、3号館、4号館（PET-CTセンター）等は本院6kv受電を数ヶ月間継続する。

⑨2号館 解体

⑩3号館 改修

- 工事を2期に分け、研修医のエリアは1期工事とする。
- 2号館の解体に伴い、3号館地下1階、4号館（PET-CTセンター）のインフララインについては仮設対応が必要となるため、1号館、又は本院のいずれかから、3号館、4号館（PET-CTセンター）への仮設インフララインを整備する。（現在、4号館（PET-CTセンター）のインフララインが2、3号館の地下を経由）
- 3号館に入居する研修医の移転フロアを先行して改修する。

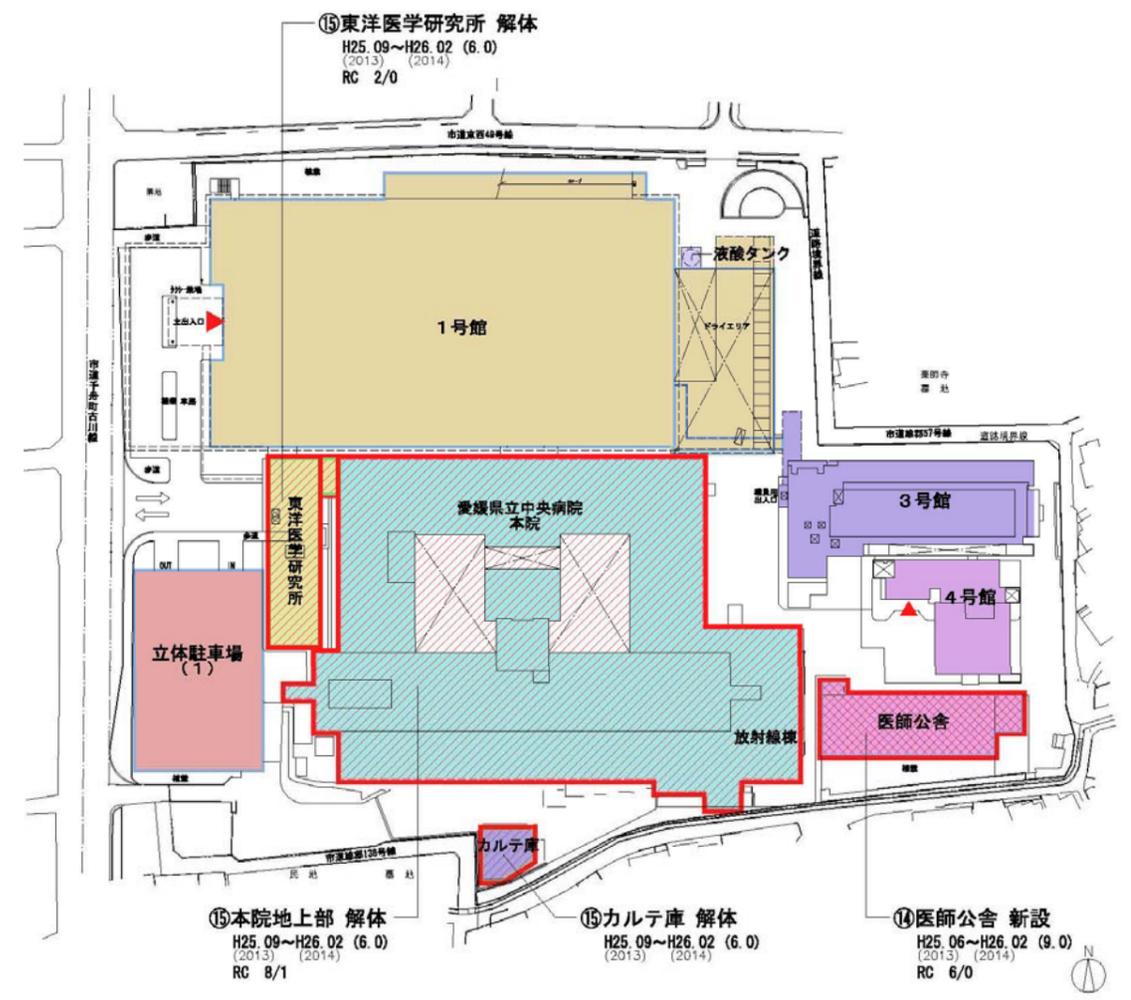
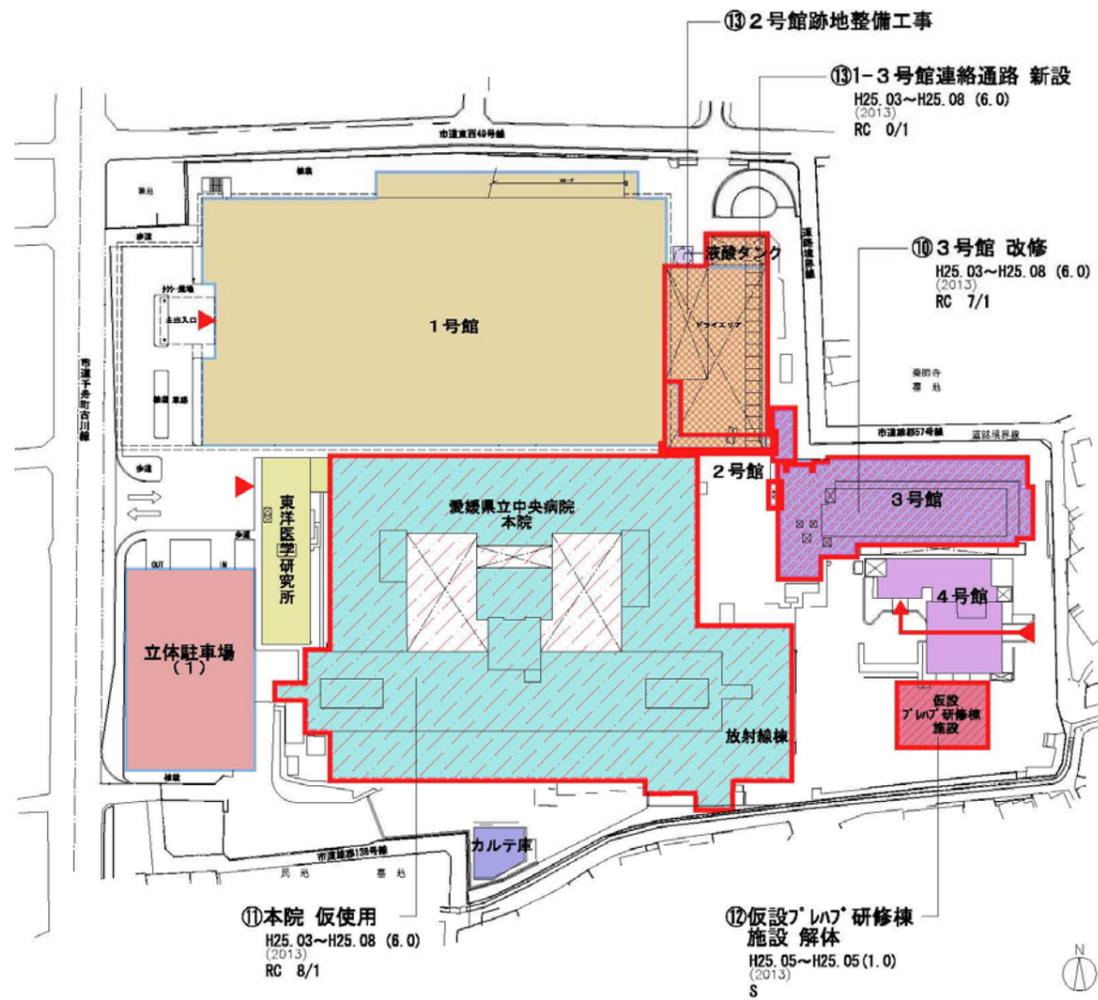
⑪本院 仮使用

- 1号館開院後6ヶ月は本院を仮使用する。
- 3号館の改修期間中、本院1、2階の管理運営部門を仮使用することから、本院の基幹設備機能、防災機能を継続運用する。
- 2号館の解体前に、1号館と既存エリアとを結ぶ仮設通路を確保する。
- 避難経路、運用動線を確保し、本院の未使用エリアは閉鎖する。

ステップ 7

ステップ 8

時系列的配置図

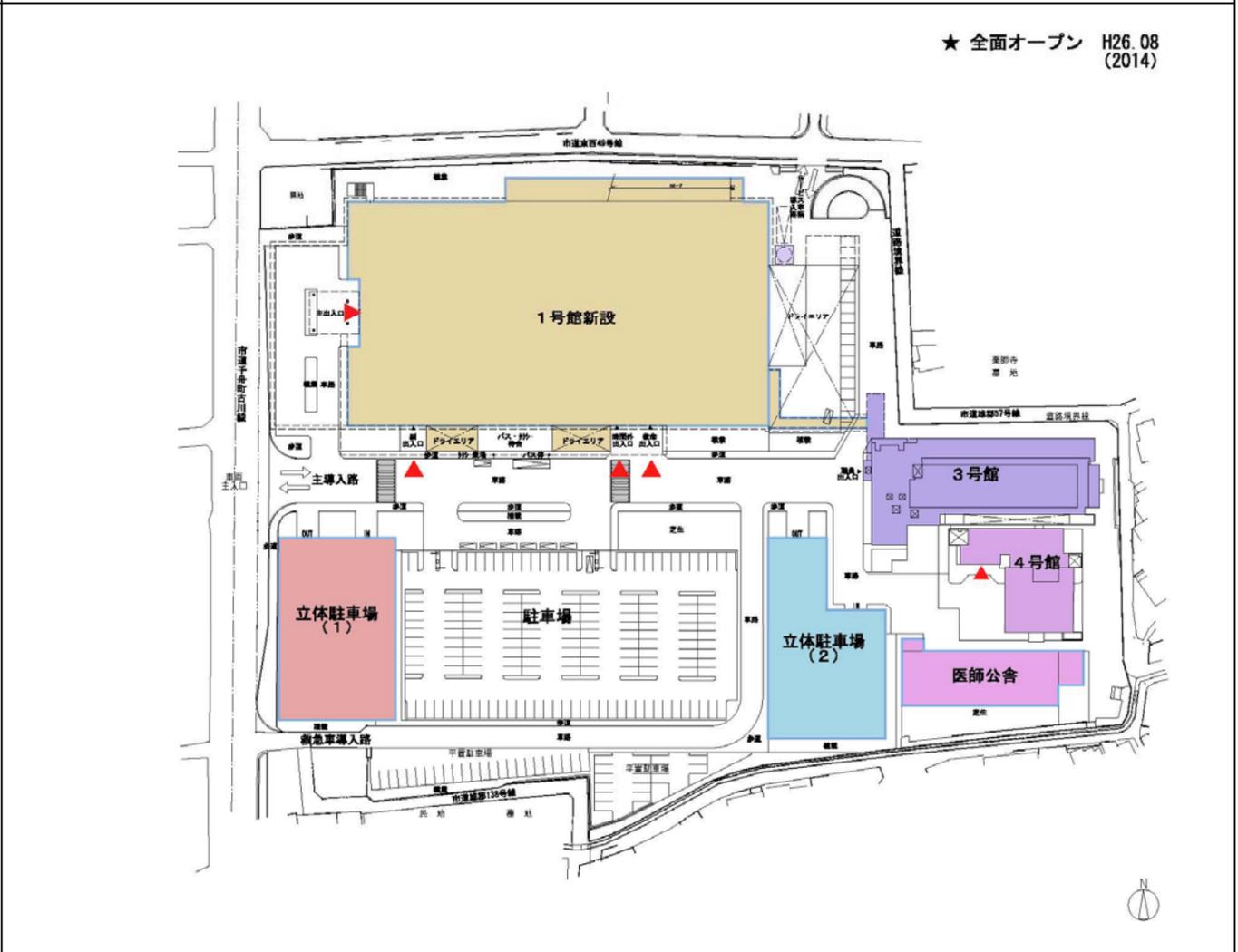
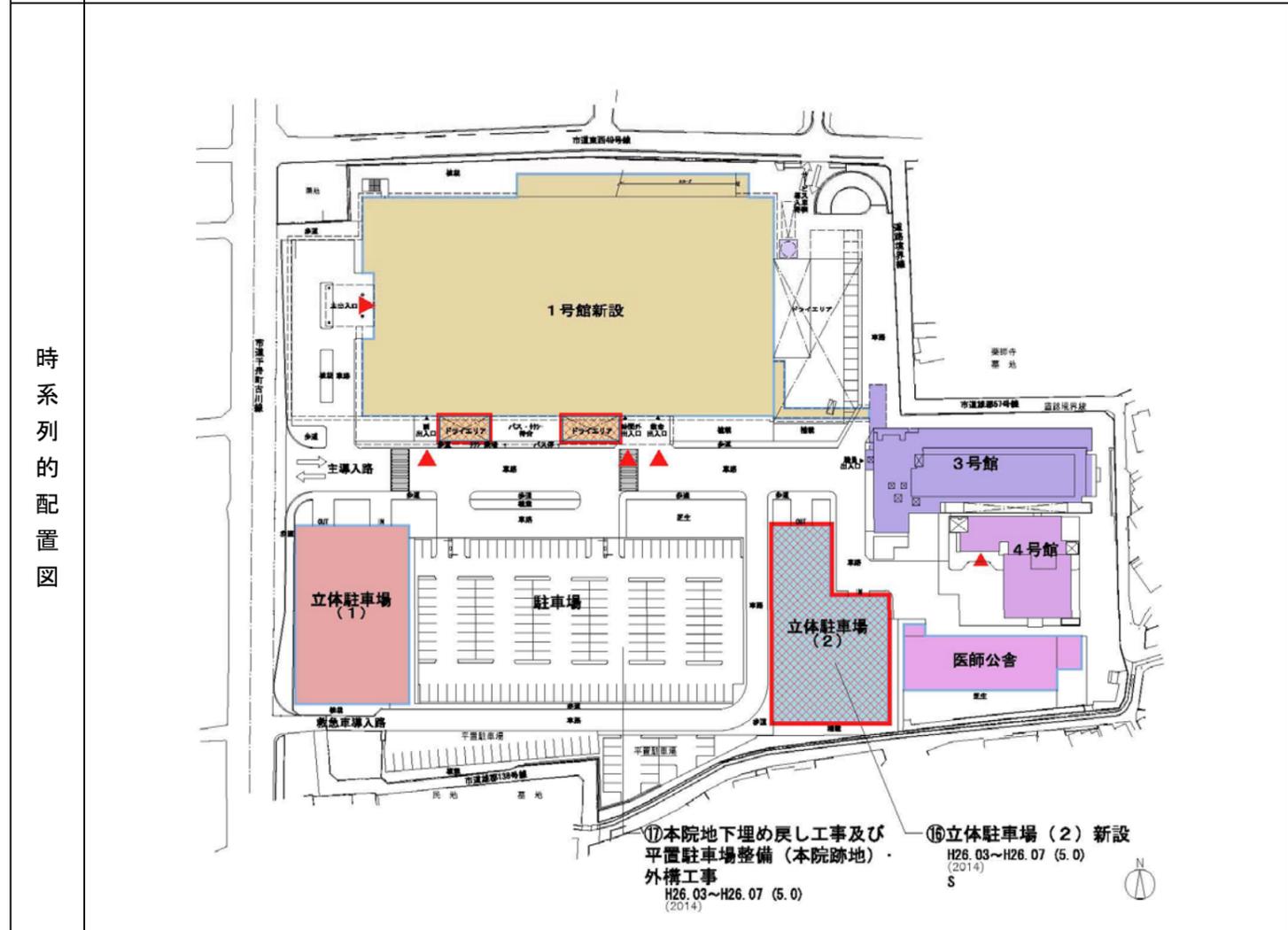


工事工程

- ⑩3号館 改修
 - 3号館の2期工事を行う。
- ⑪本院 仮使用
 - 3号館の改修工事終了時まで本院を仮使用する。
- ⑫仮設プレハブ研修棟 解体
 - 3号館に研修医諸室等を移転する。
- ⑬-a 1-3号館連絡通路 新設（現在は地下通路を想定）
 - 医療機能としての動線を確保するため、1号館と3号館の連絡通路を新設する。
 - 患者が利用する動線として整備する。
- ⑬-b 2号館跡地整備工事（現在は1号館ドライエリアを想定）
 - 現在は、2号館解体跡地をドライエリアに利用し、1-3号館連絡通路より南については埋め戻しを行うことを想定している。

- ⑭医師公舎 新設
 - 医師公舎には保育施設を併設し、南側は庭園・保育施設の遊場に整備する。
- ⑮-a 本院地上部 解体
- ⑮-b 東洋医学研究所 解体
- ⑮-c カルテ庫 解体
 - 上記施設等の解体工事にあたっては、1号館、3号館の機能に支障がないよう、留意する。

ステップ 9	ステップ 10
--------	---------



工事工程

⑩立体駐車場(2) 新設
 ⑪本院地下埋め戻し工事・平置駐車場整備(本院跡地)・外構工事
 ■本院南側は本院地下とともにドライエリアを埋め戻し、地上レベルに平置駐車場を整備する。

※全面オープンは平成26年8月を厳守